

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/04/15号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

高値ボックスに、地政学リスクと過熱感の綱引き

NY原油先物相場は、1バレル=84.50~88.00ドル水準で売買が交錯する展開になった。中東地政学リスクが下値を支える展開が続いているが、短期的な過熱感から利食い売りを進める動きも強く、明確な方向性を打ち出せなかった。週末にかけてイランがイスラエルに対して報復攻撃に踏み切るとの観測が強くなったことはポジティブ。一方、米テキサス州ポートアーサー製油所で稼働トラブルが発生したこと、国際エネルギー機関（IEA）が2024年の世界石油需要見通しを引き下げたこと、為替市場で急激なドル高圧力が発生したことはネガティブ。

イスラエルとハマスの休戦協議に目立った進展が見られなかった。休戦合意が実現する見通しは立っていない。一方、4月1日にシリアのイラン大使館がイスラエル軍の攻撃を受けたことを受け、イランの報復攻撃が差し迫ったリスクとして警戒された。12日までに攻撃は行われなかったが、週末14日にドローンやミサイル攻撃が行われた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月5日時点）は、原油が前週比584万バレル増、ガソリンが72万バレル増、石油精製品が166万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

イランの報復攻撃開始、上下双方に荒れやすいが押し目買い優勢

イランがイスラエルに対する報復攻撃に踏み切ったことで、週前半は不安定な地合になりやすい。週末14日にイランがイスラエルに対してドローンやミサイルによる攻撃を実施したが、これで攻撃が終了したのか、イスラエルがそれに反撃を行うのかなど、大きな不確実性を抱えた状態で週明けの取引を迎える。

中東情勢によって大きく揺れ動くことになるが、仮にイランによるイスラエルに対する攻撃を手掛りに投機買いが膨らんだとしても、一時的な動きに留まる可能性が高い。もちろん、イランとイスラエルとの間で大規模な軍事衝突が発生し、更に原油流通拠点であるホルムズ海峡封鎖といった事態になると、世界の原油需給・価格環境は大きな混乱状態に陥ることになる。一方で、一気に緊張レベルを高めていくような動きに発展しないのであれば、瞬間的に90ドル台に乗せるような動きがみられても、早めに調整売りが上値を抑えよう。短期上振れリスクを抱えつつも、その後は材料出尽くし感の調整売りを想定したい。

ただし、こうしたイランの動向を考慮に入れなくても、高いレベルの供給不安は維持される。中東情勢は一段と不安定化する一方、ウクライナ軍によるロシア石油施設に対するドローン攻撃が警戒される状況に変化はみられない。また、石油輸出国機構（OPEC）プラスは4~6月期も自主減産を継続する一方、今後はドライブシーズンに向けて季節要因から需要が拡大しやすい時期になる。このため、仮に短期的な材料出尽くし感から利食い売りが膨らんでも、早めに押し目は買い拾われよう。上昇トレンドそのもののピークアウトには、まだ時間が必要だろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

